

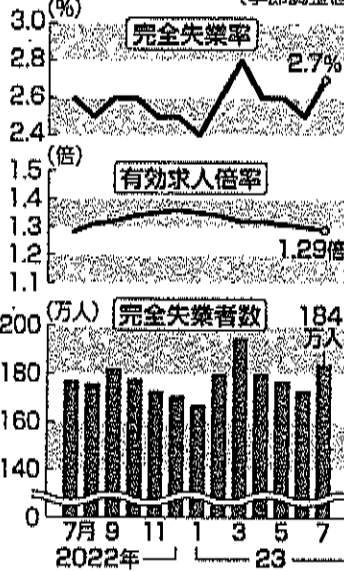
失業率 2.7% 7月

厚生労働省が29日発表した7月の有効求人倍率(季節調整値)は、前月比0.01ポイント低下の1.29倍でした。悪化は3カ月連続。物価高騰や人手不足を背景に、待遇の良い企業へ転職しようとする求職者数が増加しました。有効求人倍率は、ハローワーク

求人1.29倍 3カ月連続悪化

1人で仕事を探す求職者1人に対し、何人分の求人があるかを示す指標。有効求職者数は0.9

完全失業率と有効求人倍率 (季節調整値)



多くで仕事を探す求職者が増加。物価高を受け、収入面でより良い条件を求めて転職を希望する人が目立ちました。勤務先の人手が足りず、業務量の増加や長時間労働が理由となるケースもあったといえます。

総務省が同日発表した7月の労働力調査によると、完全失業率(季節調整値)は前月比0.2ポイント上昇の2.7%に悪化しました。完全失業者数は184万人と前月比11万人増加。女性は15万人増えており、物価高や賃上げを背景に転職や新たに働くことを考える人が増えたとみられます。